

みんなの願いきれいな選挙

明るい選挙機関紙



四日市大学祭での啓発活動

目次：

- 若年層の投票に意欲
- これからの明推協に望むもの 2P
- ますますの活躍を祈る
- 成人式と選挙
- 地区活動の紹介
- 楠地区 3P
- 桜地区
- 新成人に期待して！
- 電子投票成功裡に終わる 4P
- 明るい選挙推進協議会(略称 明推協)って何ですか？ 5P
- 四日市市明るい選挙推進協議会委員名簿 6P

私たちの一票

第2号



平成18年5月18日発行
四日市市明るい選挙推進協議会
四日市市諏訪町1番5号
四日市市選挙管理委員会事務局内



若年層の投票に意欲

明推協会長 高橋 佳子

四日市市に選挙啓発の組織が発足して四十余年が経過しました。そして、名称も活動内容もその時代の変化に応じて変遷してきました。これほど長期にわたり今日まで繋いで来られたのはひとえに多くの明推協委員の方のご努力によるものと衷心から感謝しております。昨年2月楠町との合併により24地区となり、一年中各地区それぞれの活動が市全体の大きな力となって常時啓発の積極的な活動、活発さは他に例を見ないなどと評され、四日市市独特の手法を心強く感じています。いつも自然体で地区行事の中に溶け込み、力まず、自由な発想で、新しい知恵を出しながら「贈らない」「求めない」「受け取らない」の「三ない運動」に「棄権しない」をプラスして「四ない運動」と名付けて、四日市市の明推協らしい啓発を、委員一同が力を合わせて取り組んで参りたいと思っています。今後の課題として若年層の選挙に対する意欲の向上を重点に取り組み、一人でも多くの方が投票していただける活動を力強く進めて参りたいと考えています。

これからの明推協に望むもの

選挙管理委員会委員長 市橋 愛爾

本市に明推協が誕生して、40年以上になります。その間、全国でも多くの明推協の方に活動していただいたにもかかわらず、今日まで買収など選挙違反が根絶しないのは、とても残念な思いがします。

さて、本市の明推協の活動は、ビデオで全国に何度も紹介され、全国の市町村の明推協のお手本のようになっています。つい先般も、市町村合併で弱体化した組織の再編に向けて、本市の明推協の組織体制、特に各地区での活動がよい見本になると選挙関係の雑誌に掲載されました。皆さんの活動が高く評価されていることの現れだと思っています。

このように、全国の先駆者的存在の本市の明推協も、取り巻く環境は、決して楽観的なものではなく、主要事業の「はたちのしおり」の配付も、賃貸マンションの増加や個人情報の保護といった時代の流れともいべき事象により、年々活動が難しくなっています。

しかし、本市の明推協は、これまで幾度も多くの困難を乗り越え、現在のような素晴らしい組織となってきたのですから、皆さんが力を合わせ、もっと活力のある明るい選挙推進運動を展開してくれるものと信じ、さらに前進していくことを期待するものです。

ますますの活躍を祈る

明推協副会長 伊藤 正昭



「明推協の副会長を引き受けてもらえませんか」8年前、選管事務局から突然電話が入りました。固辞したものの、断り切れずに引き受けはしましたが、結果的には皆さんにご迷惑のかけ通しの8年間でした。

在任中は、他地区の熱心な活動に啓発され、自らの取り組みの未熟さを反省させられるばかりで、私個人としてはいろいろと学ばせていただくことが多かったことを感謝しています。

小生の至らなかった点をお詫びするとともに、皆様方のますますの活躍をお祈りして、今回退任のことばに代えさせていただきます。

ありがとうございました。

成人式と選挙

社会教育課長 石田 利博

私ども社会教育課は、成人式を担当する部署でもあります。さて、二十歳を迎えた人が、最も大人の仲間入りをしたと感ずることができるのは、選挙ではないでしょうか。

しかし、近年の若年層の投票率の低下は著しく、多くの方が投票していない状況にあるのは誠に残念なことです。そのような中で、成人式において、明推協の皆さんが、ハッピーを着て新成人の人たちに一生懸命に選挙啓発をする姿を拝見し、頭の下がる思いがしました。このように地道に啓発を続けていくことが、極めて重要だと私自身も考えております。

委員の皆さんに敬意を表しつつ、明推協のますますの発展を心から願うものです。

地区活動の紹介

《投票率向上をめざして 楠地区》

平成17年2月7日、楠町は四日市市に合併したところから旧明推協は解散し、新たに依頼された委員5名で発足しました。その後、四日市市明推協の総会、役員会、三四支会研修会などへの出席、市議会の傍聴、新成人への「はたちのしおり」の配布、成人式での啓発などに参加しました。特に、成人式典の前に行われた模擬投票体験コーナーでは、明推協委員がもう少し強く呼びかけたら、多くの新成人に体験をしていただけたのではないかと思います。また、衆議院議員選挙の期日前投票の立会

いと、投票当日の立会いも体験しました。その際感じたことは、期日前投票所を市内北部にもう一箇所増やすなど、投票率を上げる工夫が必要ではないかと感じました。

最後に、四日市市明推協は活動のレベルが高く、毎年輪番でモデル地区を指定し啓発活動がされている。楠地区も18年度からは、投票率向上につながる活動方針をより一層充実していかなければならないと思っています。

《目標65%以上の投票率 桜地区》

郵政民営化問題で衆議院が突然解散となり、有権者の皆さんの政治への関心が一気に高まりました。桜地区でも「目標投票率65%以上」を大幅に上回る結果となりました。

明推協委員は連合自治会主催の運動会、盆踊り、文化祭等、諸行事に各種団体の協力を得て啓発事業をしています。

本年度は明推協活動「モデル地区」の指定を受け、委員は青少年の啓発に重点をおき活動しています。小・中学校生徒に、啓発ポスターを募集したり、中学・



政治家は選挙区内の人々に祝金や祝品、あいさつ状などを出すことは禁止されています

高等学校には生徒会役員選挙に選挙用機材を貸し出しています。選挙に興味を持ち、さらに関心を高めてもらいたと思います。

衆議院小選挙区 桜地区投票結果

桜地区	平成17年9月11日			平成15年11月9日		
	男	女	計 (%)	男	女	計 (%)
有権者数	12,858人			12,702人		
桜	70.25	70.03	70.13	62.52	61.57	62.02
桜台	73.28	74.73	74.02	65.94	63.96	64.93
全市	67.25	69.08	68.19	60.63	61.02	60.83

明日の三重
あなたの一票
生かすとき

標準語入選作品
三重地区 山本 高三氏

新成人に期待して！

「私たちの一票」第2号

平成18年1月8日（日）13時から四日市市主催の成人式が、四日市市文化会館で盛大に行われました。

平素、各地区で新成人の誕生月に一軒一軒訪ねて、「はたちのしおり」を手渡している明推協委員のうち地区幹事が大勢集まりました。

当日は12時から、新成人に、啓発物資（あぶらとり紙）を渡しながらか『おめでとうございます。私たちが「はたちのしおり」をお宅にお届けしたのよ。』と話しかけると「貴方たちでしたか！！今日も激励をありがとう。」と心地よい返事が返ってきて、日ごろの苦勞が癒される思いがしました。

啓発のメンバーは二十歳になった新成人の選挙への自覚を祈らずにはいられませんでした。



電子投票 成功裡に終わる

四日市市長選挙で実施された電子投票は、わが国で12例目。事例中最大規模で、有権者数は約228千人を対象に、投票所数56箇所、投票機総数392台の構成で臨みました。

折しも、他都市で発生した機械的トラブルによって、全国の自治体のなかには、導入を暫くは見合わせるという傾向が強まるなか、本市の成功は今までの不安を払拭し、国政選挙への弾みとなると評価されました。

電子投票の実施に当たっては、二つのシステムを用意しました。一つは投票操作を支え、集計を行うもので、今回はこれと投票機並びに集計装置を合わせてレンタルでまかなわれました。もう一つは、選挙人名簿の作成及び受付、本人確認、二重投票の防止等、選挙業務を支援するものです。このシステムは、電子投票、紙の投票いずれにも活用できます。さらに入場券のバーコード化で照合時間の短縮、受付事務の迅速化が図られました。



成人式会場での啓発活動

また、期日前投票の設営場所が複数箇所あっても対応が可能になり、投票率向上に役立つものと思われます。

郵政民営化法解散選挙では700～800億円の費用がかかった、と云われています。

今回の市長選で採用された電子投票は、国からの補助があったとはいえ、従来の紙投票に比べると2000万円程の費用負担増となったようです。今後、全国的に普及すれば、経費削減が期待できます。将来に向けての先行投資だと考えると、充分価値がある試行だったのではないのでしょうか。よりよい機器が開発され、安全性と信頼性が向上され、電子投票がもっと広がることを期待したいものです。

有権者の半数以上が棄権した選挙になりました。電子投票の導入によって、投票率が期待ほど伸びなかったのは、あながち、事前のPR不足ばかりとは、いいきれないと考えられます。

明るい選挙推進協議会(略称 明推協)って何ですか？

多くの有権者は「選挙管理委員会」はご存じでも「明るい選挙推進協議会」とは、どんな目的でどんな活動をしているのか、知らない人が多いのが実情です。

明推協運動の「目標」はおおむね二つあります。

① 人を選ぶ目

一人でも多くの有権者が投票に参加し、きれいな選挙が行われることが目標です。また、代表者としてふさわしい人を選ぶ“目”を持つことも健全な民主政治にとって大切なことです。

② 政治意識の向上

政治意識を深め、向上させることや、身近な市の行政がどのようになっているか、と言った正しい認識を持つようにしなければなりません。

単に政治常識や知識のみではなく、政治の主人公にふさわしい主権者意識の徹底が強く望まれます。

＜ 明推協のあゆみ 公明選挙運動 ＞

明推協を知るには、その起源を知らなければなりません。

戦後の明るい選挙推進運動は、昭和27年公明選挙運動として始められました。私たちが主権者であるという意識を常に忘れず、選挙に関して不正や違反が繰り返されるという選挙の実態に抵抗して始められたものです。

このとき、一大国民運動が展開され、正しく明るい選挙をしましょう、と有志の呼びかけの輪が広がり、言論、実業経済、婦人など各界の支援を受け、昭和27年6月4日「公明選挙連盟」が結成され“公明選挙”と呼ばれるようになりました。

＜ 明るく正しい選挙 ＞

昭和40年3月からは、もっとわかりやすく親しみやすい名称を一般から公募し「明るく正しい選挙」と呼ぶようになりました。

しかし、昭和49年、この名称が長すぎることに、「明るく」の中に「正しい」意味が含まれていることから、今の「明るい選挙」になりました。

このように名称の移り変わりはありましたが、運動の趣旨や目的は、終始一貫して変わることなく、引き継がれています。

＜ 明るい選挙 ＞

選挙における主役は、候補者や政党ではなく、私たちです。「明るい選挙」とは、選挙

犯罪や義理人情によるゆがんだ選挙をなくし、公明、適正に行われ、私たちの意志が政治に正しく反映されることを指します。

これらを進めるための明推協運動は、特定の政党、政策、候補者を支持したり、反対する政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されなければなりません。

＜ 明推協の啓発活動 ＞

私たちの明推協は、24地区から135人の委員が選ばれています。地区独自のイベントや話し合い活動、研修会や街中での明るい選挙を訴えるため、近鉄四日市駅周辺での街頭啓発、四日市大学でのイベントなど、各方面で選挙管理委員会や社会教育団体とも協力しながら幅広く活動しています。

＜ 手渡し「はたちのしおり」 ＞

新成人への啓発は「はたちのしおり」の小冊子を担当の地区委員が新成人の家庭を訪れ、笑顔を見ながら本人に渡し続けており、好評で効果をあげています。

また、毎年2～3地区をモデルに指定して模範活動を実施。今年で24の全地区を一巡して二巡目に入っています。委員のアイデアを生かし、独特の啓発を展開しています

＜ 啓発ビデオに紹介 ＞

委員の研修会、成人式場での啓発、市議会の傍聴、市財政の勉強なども幅広く取り入れ、市民と密着した啓発を行っています。これが、全国放送の機関紙、「私たちの広場」やCTVテレビで放映され、「私たちの一票」の第1号と共に啓発ビデオは全国にも紹介されています。

＜ 先進都市四日市 ＞

本市明推協の先進的な取り組みは、他の都市から多くの視察がある一方、本市の視察先が少なく一歩リードしたうれしい悩みもあります。

＜ 努力が実を結ぶ ＞

平成11年3月に、財団法人明るい選挙推進協議会から表彰を受け、また同年11月には、三重県選挙管理委員会から感謝状を受けました。これは、日ごろからの地道な努力の積み重ねが、高く評価されたとも考えられます。

＜ 誇りをもって啓発 ＞

私たちの栄えある表彰の基礎は、委員一人ひとりの汗と努力が実を結んだものであります。今後はこれを誇りに、さらに力を合わせて全国からの期待を裏切ることのないよう、強い情熱を持って本会の発展に寄与していきたいと念じています。

平成18年度委員名簿

明るい選挙を担うひとびと

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
中部	水谷 謙之 北岡 泰一 北畠 裕子 刑部 清子 須賀 亮一 井上 忠	羽津	寺村喜久男 久志本正彦	内部	富島 正昭 田中 鈴子 清水 芳則 土井 靖子 東川 満 新開 昇 堀 よしみ	神前	石崎 由香利 岡本 正夫 中野 町子	八郷	水野 昭男 伊藤 義昭 石田 隆子 山尾 和子 渡辺 八重子	水沢	上村 れい子 田中 貴美子 中川 みき子
	富洲原	鈴木 稔 高橋 治 生川 玉雄 青木 茂雄 名倉 忠昭 伊藤 盛恵	常磐		川村 憲一 堀 桂子 別所 春代 後藤 俊子 谷崎 滋夫 初田 友子	塩浜	小川三枝子 西村 和代 村木 岩和 山村 好美 小宮 計祐		桜	眞川 勇 渡邊 敏弘 服部 幸一郎 芳山 昇 後藤 和広 近藤 晃	下野
富田		高橋 佳子 早川多津子 林 玄雄 渡辺 堯子 林 正雄 荒木 暁美	日永	久保田 恰 田中 資郎 小林 幸子 寺本都美子 鏡 澄子 田中喜代子	小山田		萩 伸元 須藤 愛子 中村 實 川島 敬子	三重	山本 高三 中島 幹雄 野田 雅春 小島 正司 加藤 裕久 服部 満 服部 正光 後藤 好孝	大矢知	
	羽津	山下 英 森 香英子 尾崎久美子 山田 明美	四郷	井上 敏夫 坂下 悦子 古川 とし子 加藤喜代子 粥川謹二郎 真柄 昭弘 藤田 紀美 後藤 良子 広森 義昭		川島	中村久美子 宮城 啓子 青木 八重 奥田 かなえ 小林 三弘		県		立石 善造 水谷 秀子 赤井 眞知子 市川 春吉 小林 美津子
				神前	鈴木 菖子 川村 きさ代			水沢		原 源昭 豊田 早男 豊田 宗浩	楠

おつかれさまでした

- 平田 伸子(羽津) 市川 敏和(日永) 小松 泰敏(日永) 羽木 勝也(四郷) 福島 泰子(四郷)
- 平井 泰三(四郷) 三谷 百合(内部) 伊藤 正昭(塩浜) 清水 照香(塩浜) 清水 佳子(塩浜)
- 服部ふさ子(川島) 中野 貞子(神前) 川北 新海(神前) 下田 忠芳(神前) 竹田 博行(桜)
- 山北 元弘(桜) 服部 高義(三重) 舘 司朗(三重) 奥田 信子(三重) 赤尾美智子(八郷)
- 国政 卓治(八郷) 野呂 崇典(下野) 栗田 博(大矢知) 鈴木 豊(河原田) 森澤 るり(水沢)
- 水谷 直子(水沢) 山川 晃雄(保々) 眞野 雅彦(橋北) 伴 正司(楠)

広報編集委員

編集委員長
萩 伸元 (小山田)
委員

- 北岡 泰一 (中部) 眞川 勇 (桜) 高橋 佳子 (富田) 山本 高三 (三重)
- 富島 正昭 (内部) 手賀 衛 (下野) 伊藤 正昭 (塩浜) 石川 琢己 (楠)



あ と が き

- 折からの財政難で印刷予算がつかず、発行にかける意気込みと熱意が2年間のブランクののち、選管職員のお骨折りにより、手作りの「私たちの一票」を発行することができました。
- 9人の編集委員が、4回の会議で、原稿や写真など時間も忘れて熱心に意見を交わし、でき上がったのがこの第2号です。
- 本年は委員の交替年です。楠町の委員も、親しくすんなりとけ込んでくださり、和気あいあいと、さい先良いスタートをきることができ、感謝しています。